

# 2カメラ同時録画 ドライブレコーダー/ウェアラブルカメラ 【取扱説明書】

BDVR-B002

---

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

なお、お読みになった後も大切に保管してください。



**MAXWIN**

# 最初にお読みください

## 汎用スマホアプリ「Viidure」について

「Viidure」は汎用アプリの為、仕様が変更される場合がございます。  
予めご了承ください。

- 汎用スマホアプリ「Viidure」に接続した初期画面の下部にある「その他アイコン」について「Viidure」は汎用スマホアプリの為、「フィードバック」と「私たちについて」は使用できません。予めご了承ください。
- 汎用スマホアプリ「Viidure」からドライブレコーダーにアクセスした後の画面の「再生ボタン」を誤って手が触れてしまったり、間違えて押してしまうと、録画が再開され、ドライブレコーダーとの接続が切断されます。再度、ドライブレコーダーと接続しなおす必要があります。ご注意ください。

## 高画質撮影および手振れ補正機能について

- 4K高画質録画は前方1カメラ使用時のみ設定することができます。  
前後2カメラ使用時は汎用アプリ「Viidure」の設定（取扱説明書P.30 ②録画解像度）内に4K設定枠が表示されません。前方1カメラに切り替えてから設定下さい。
- EIS手振れ補正設定は前方1カメラ使用時のみ設定することができます。  
前後2カメラ使用時は汎用アプリ「Viidure」の設定（取扱説明書P.30 ⑥アンチシェイク）内のON/OFF切替え枠が表示されません。前方1カメラに切り替えてから設定下さい。
- 汎用アプリ「Viidure」からカメラ（前方1カメラ/前後2カメラ）の切替えはできません。  
本体の電源ボタンにて切り替えます。詳しい切替え方法は取扱説明書P.13をご確認下さい。

# 目次

■安全上のご注意	1
■取付上のご注意	3
■背湯族接続ほうほう上のご注意	4
■microSDカードについて	6
■microSDカードについてのご注意	7
■内蔵充電バッテリーについて／本製品の防水性能について	8
■無線LANに関する注意	9
■梱包内容の確認	10
■各部名称と働き	11
■LEDランプ表示	13
■本機の充電	15
■microSDカードの挿入・取り出し	16
■本機の取り付け	17
■電源のON/OFF	20
■microSDカードのフォーマット	21
■日付と時刻について	22
■録画方式	23
■Wi-Fi接続モード	25
■汎用スマホアプリ「Viidure」接続方法	26
■汎用スマホアプリ「Viidure」について	27
■パソコンで再生する	32
■よくある質問	35
■製品仕様	37
■ファームウェアについて	38
■商品保証書	39

## 安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認いただいてから本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。

### 警告

- 本機はmicroUSB端子(電源供給)5V/1A専用です。  
自転車、電動アシスト自転車、原付、バイク、電動キックボード、キックスクーター専用です。  
上記以外の使用環境は想定していません。
- 本機を分解したり、改造しないでください。  
事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。  
電源コードの電流量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。  
事故、火災、感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、ただちに使用を止めて電源をOFFにして下さい。  
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 運転者は、走行中にmicroSDカードの抜き差しやスイッチの操作をしないでください。  
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機が衝撃を検知するかを確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。  
発煙、発火、感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。  
落雷により、感電の危険性があります。
- 本機を使用するために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- microSDカード挿入口に異物を入れないでください。  
火災や感電の原因となります。
- 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。  
付属品を誤って飲み込んだり、怪我の原因となります。





### 注意

- 本機は、**運転時の状況を記録することが目的です。**  
その他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、**強い力やショックを与えることはしないでください。**  
火災、故障のおそれがあります。
- 夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、**素手で触らないでください。**  
直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
- microSDカード挿入口に手や指を入れないでください。  
けがの原因となることがあります。
- クリーナーなどのスプレーや水分などを本機にかけないでください。  
両面テープが剥がれリアカメラが脱落するおそれがあります。
- 煙、匂い、発熱、異音等の異常現象がある場合は、**ただちに使用を止めて電源をOFFして下さい。**
- 本機側面のゴムカバーを開けて専用アクセサリ以外の物は使用しないでください。  
発煙、発火、感電、故障につながります。
- バイク等の運転中に本機の操作はしないで下さい。  
本機の操作は運転前か終了後に行ってください。
- 極端な高温や低温でのご使用は、**誤動作や故障の原因となります。**
- 本機には必ず仕様に適合したmicroSDカードをご使用してください。
- microSDカードを挿入口から挿入してお使いください。  
microSDカードを挿入しないと、本機は動作しません。
- microSDカードを本機に挿入する場合、向きに注意してください。
- microSDカードの抜き差しは必ず電源OFFになっていることを確認して行ってください。  
本機が動作中にmicroSDカードの抜き差しを行うと破損するおそれがあります。
- microSDカードには本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。  
映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- 本機を強くたたく、ものをぶつけるなどの強い衝撃をあたえないでください。  
故障や破損の原因となります。
- 本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。  
変形や変質、破損の原因となります。

## 安全上のご注意

- 磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。  
キズの原因となります。
- カメラ・レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽くふいでください。  
乾いた布で強くこするとキズの原因となります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーブルーミング現象※が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。  
※ブルーミング現象:強い光源の周辺や、非常にコントラストの強いシーンを撮影した場合に撮像素子が強い光を受け、飽和して周囲の画素にあふれ出す現象です。
- microUSBケーブルを傷つけたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりしないで下さい。
- microUSBケーブルの芯線の露出、断線などがあった場合は、販売店にご相談下さい。  
そのまま使用すると、感電、発熱、火災、の原因となります。
- microUSBケーブルを改造したりしないで下さい。  
火災、感電の原因となります。
- microUSBケーブルは必ず付属のものをご使用ください。また他の製品に使用しないで下さい。  
火災、感電の原因となります。
- ご不要になった場合は、本機の側面(ゴムカバー)を開けた状態で塩水に2~3日つけて完全に放電させてから燃えないごみとして、廃棄してください。

## 取付上のご注意

- 取付作業は環境の整った、専門知識のある作業者がいる修理工場や車両販売店での取付をおすすめします。
- 商品可動部の調整、部品の組み換え、車体への取り付けと装着は全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。
- 取付作業の際は、安全の為、車両側の電源OFF状態で作業し、必要に応じて電源ONで通電等の機能確認をお願いします。
- 作業後は必ず各システムの動作確認(車両側、本製品側)をお願いします。
- 取付後、約50km走行しましたら、各部を点検してネジ部の増締めを行ってください。
- その後は、約100km毎に必ず点検し、同様の増締めを行ってください。

## 使用上のご注意

### 本機についての注意事項です。必ずお読みください。

- 本機は事故の検証に役立つことも目的の1つとした製品ですが、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合には弊社は一切責任を負いません。
- 本機は録画状態で使用することにより映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- 故障や本体の使用途中によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損害、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む）に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。
- 本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録がいっぱいになると古い映像から順に消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSDカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いいたします。
- 記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いいたします。
- 内蔵バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には、録画は動作しないことがあります。
- 運転者は走行中に本機を注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。
- 本機が起動中にmicroSDカードを抜かないでください。  
microSDカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSDカードの破損で映像が記録できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- Wi-Fi機能は汎用アプリ（フリーソフト）を使用して撮影画角の確認用として利用できます。スマートフォンの機種やAndroid、iOSなどのバージョンにより対応しないものがあります。当社は汎用アプリに関しては保証致しません。
- LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件について弊社は一切責任を負いません。

## 使用上のご注意

以下の場合などは、映像の記録ができないことがあります。

- 1.本機にmicroSDカードを挿入していない場合
- 2.本機からmicroSDカードを抜いた場合
- 3.本機の仕様に適合するmicroSDカード以外を使用した場合
- 4.記録した古い映像が、新しい記録によって消されて(上書きされて)しまった場合
- 5.大きな事故や水没などで本機及びmicroSDカードが損傷を受けた場合
- 6.大きな事故の場合などで本機内蔵バッテリーが断線した場合
- 7.低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
- 8.本機の本体が固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

### ■もしも事故に遭われた場合のご注意

- 1.もし事故に遭われた場合は、録画ボタンを押して録画を停止してください。
- 2.電源ボタンを長押しすると本体の電源がOFFになりますので、その後にmicroSDカードを抜いて大切に保管してください。

## microSDカードについて

- 本機を使用するときは、microSDカードが必要です。
- 使用できるmicroSDカードについて  
本書では特にことわりのないかぎり「microSDHCカード」、「microSDXCカード」microSDカードと総称して表示しています。  
本機では下記のSD規格に準拠したmicroSDカードに対応しています。
  - ・microSDHCカード： 容量16～32GB、スピードクラス:CLASS10以上
  - ・microSDXCカード： 容量:64～128GB、スピードクラス:CLASS10以上※microSDXCカードを使用する場合は、初めに本機でフォーマットを行ってください。  
※全てのmicroSDカードでの使用を保証するものではありません。
- ご使用の際には、必ずmicroSDカードに付属の取扱説明書も合わせてご確認ください。
- microSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。
- microSDカードによっては、挿入、取り外しにくい場合があります。
- microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- 使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。  
※寿命となったmicroSDカードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常にご使用できなくなります。
- 正常に使用していた場合であっても、microSDカードは消耗品のため、定期的に新品交換またはフォーマットすることをおすすめします。
- 長期間フォーマットがされていない場合、デフラグ(断片化)が発生し、正しく録画がされない可能性がありますので、定期的にフォーマットを行ってください。
- フォーマットは本機で行うようにしてください。本機以外の製品やパソコン等によるフォーマットでは正しく録画ができない場合があります。
- microSDカードに異常がある場合、本機でフォーマットができない場合があります。
- microSDカード内へ本機以外のデータを保存しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSDカードの容量や保存されているデータ量によっては、起動時間や録画ファイルの読み込みに時間がかかる場合があります。
- 変形しているmicroSDカードを使用するとエラー発生および故障の原因となります。
- 重大な事故などで本機内部電源が断たれた場合やmicroSDカード自体が破損した場合、記録することができない場合があります。また、記録されているデータが破損する可能性があります。
- 本機の動作温度が仕様外の場合、microSDカードが正常に動作しない場合があります。
- microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等は行っておりません。
- 思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。

## microSDカードについてのご注意

本製品に使用する microSDカードで厚さ 0.8mm以上のものはご使用にならないでください。

### ■カードスロットが詰まり、正常に取り出せなくなることがあります。

国内正規品の microSDカードのご使用を推奨致します。

## 当社推奨microSDカード

容量:32GB  
品番:SD-A32G



容量:64GB  
品番:SD-A64G



容量:128GB  
品番:SD-A128G



※microSDカードスロットの挿入口には、microSDカード以外のものは入れないでください。

※microSDカードラベルなどを貼らないでください。

## 内蔵充電式バッテリーについて

本機には2000mAhのバッテリー(リチウムイオン)を内蔵しております。

※利用や保管状態に応じて劣化致しますので、充電回数、動作時間に関わらず電池寿命は保証対象外です。電池特性に合った利用・保管方法をお願いいたします。

■本機を炎天下の屋外や直射日光の強いところなど、高温になる場所に放置しないでください。バッテリー内部で異常な化学反応が起こり、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。

■鋭利なもので刺したり、叩いたりしないでください。バッテリーが破裂や変形したりガス漏れなどにより、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。

■本機が稼働している状態でなくても、バッテリーは自然放電してしまいます。バッテリー性能に限らず自然放電による、長期の内部電力量の担保には限界があります。購入後は速やかに、本機の充電をしてください。

※バッテリー満充電時の自然放電は目安は約2ヶ月ですが、保証値ではありません。

■過放電は電池寿命を縮め充電出来なくなる場合があります。電池切れの前に充電して下さい。

■本機を長時間使用しない場合は本体から充電ケーブルを外してください。

■本機を長時間使用しない場合はバッテリー残量を50%程度にしてから保管してください。

## 本製品の防水性能について

■ドライブレコーダー本体:

本製品のドライブレコーダー本体は、防水規格IP65相当の仕様となっています。

※防水性能は当社試験方法によるものです。

※本体側面の保護ゴムキャップは取り外さないでください。

※完全防水ではありませんので、水中では使用しないでください。

●本製品の各部品への内部浸水/結露による故障は、保証期間内であっても保証対象外となります。あらかじめご了承ください。

●本製品をご使用の際は、湿気や高温(50℃以上)、極端な温度変化のある環境下を避けてください。

●洗車時には本製品を外して洗車してください。保管してください。

## 無線LANに関する注意

- 本製品は、技術基準適合証明を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。なお、日本国内以外で使用する場合には、各国の電波法に抵触する恐れがあります。
- 本製品のラベルには技術基準適合番号が印刷されています。このラベルは絶対にはがさないでください。はがした状態で使用すると電波法違反となります。
- 分解したり改造したりすることは電波法で禁止されています。絶対におこなわないでください。
- 本製品は 2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。  
上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、本製品の通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。
- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに「Wi-Fi」機能の設定をOFFに変更してください。
- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本製品の電源を切ってください。  
電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 本製品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。  
電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因となることがあります。  
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
- 本製品はすべてのスマートフォンとの接続動作を確認したものではありません。そのためすべてのスマートフォンとの動作を保証するものではありません。



## 梱包内容の確認

本機の梱包内容は以下の通りです。

本体	Type-C 充電ケーブル
	
ヘルメット装着用 マウントセット	スライド設置 アタッチメント
	
両面テープ2種	面ファスナー2種
	
microSDカード32GB	
	

## 各部名称と働き

本機の各部名称は以下の通りです。

### ■本体



- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| ①フロントカメラレンズ            | ⑤充電LED                |
| ②録画・電源ボタン・フロントカメラ録画LED | ⑥リアカメラレンズ             |
| ③microSDカードスロット        | ⑦マイク                  |
| ④Wi-Fi LED・リアカメラ録画LED  | ⑧充電ポート(Type-C)リセットボタン |

## 各部名称と働き

### ① フロントカメラレンズ

### ② 電源ボタン

- ・電源OFF状態: 長押しで電源ONします。  
(電源ONで自動録画スタート)
- ・電源ON状態: 長押しで電源OFFします。  
(電源OFFで自動録画終了)

### ② 録画ボタン

- ・電源ONで自動的に録画を開始します。

### ② フロントカメラ録画LED

- 録画中:赤点滅。

### ③ microSDスロット

- microSDカードを挿入します。

### ④ Wi-Fi LED

- ・電源ON状態: 短押しでWi-Fi機能をONにします。  
再度短押しでWi-Fi機能をOFFにします。  
※Wi-Fi接続中は録画は停止されます。

### ④ リアカメラ録画LED

- リアカメラ録画LED: 赤点滅。

### ⑤ 充電LED

- ・充電中: 緑点滅。
- ・満充電: 緑点灯。※ケーブル接続時のみ

### ⑥ リアカメラレンズ

### ⑦ マイク

- 周囲の音声を録音します。

### ⑧ リセットボタン

- 正しく動作しなくなった時に先の細いピンなどで押してください。  
※本体が再起動します。

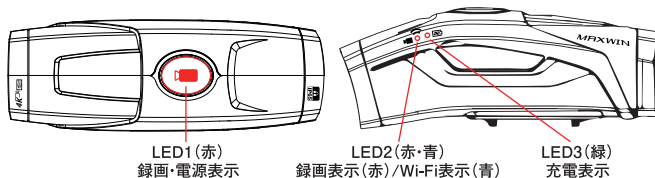
### ⑧ 充電ポート(Type-C)

- microUSB給電(DC5V 1A)/データ通信ケーブルを接続します。

## LEDランプ表示

### ■LEDランプ表示について

録画・Wi-Fi・電源ボタンを押し方・押し長さでLED表示が変わります。



### ●録画・電源ボタン・フロントカメラ録画 (LED1) 点灯パターン

状態	方法	LED表示
電源ON	電源OFF中に長押し	「赤高速点滅」 ●●●●●
録画開始～録画中	電源OFF中に長押し	「赤点滅」 ■■■■■
電源OFF	電源ON中に長押し	「赤点灯」
前1カメラ/ 前後2カメラ切替	2回連続短押し	「赤高速点灯」 ●●●●●

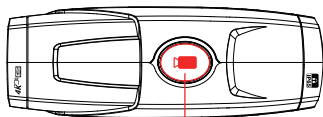
### ●Wi-Fi LED・リアカメラ録画 (LED2) 点灯パターン

状態	方法	LED表示
Wi-Fi機能ON	電源ON中に短押し	「青点滅」 ■■■■■
Wi-Fi接続中	スマートフォンから接続	「青点灯」 ■■■■■
Wi-Fi機能OFF	電源ON中に短押し	「青消灯」
リアカメラ録画	前1カメラ 前後2カメラ切替時	「赤点滅」 ■■■■■

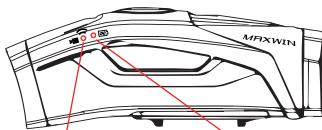
## LEDランプ表示

### ■LEDランプ表示について

録画・Wi-Fi・電源ボタンを押し方・押す長さでLED表示が変わります。





LED1(赤)  
録画・電源表示



LED2(赤・青)  
録画表示(赤)/Wi-Fi表示(青)

LED3(緑)  
充電表示

### ●充電表示(LED3)点灯パターン

状態	方法	LED表示
内蔵バッテリー充電中	ケーブル接続時	「緑点滅」 
内蔵バッテリー満充電	ケーブル接続時	「緑点灯」 

## 本機の充電

本製品を初めてご使用になる際は、以下の手順で本体の内蔵バッテリーをフル充電してください。

※内蔵バッテリーの残量が少ない状態で使用すると、車両などから電源供給する場合であっても本体が正常に作動しない場合があります。以降も定期的に本体の充電を行なってください。

※このとき、本機にmicroSDカードを挿入する必要はありません。

[1] 本機と付属のmicroUSBケーブル、市販のACアダプタ(定格出力5V-1.0A以上)を用意します。

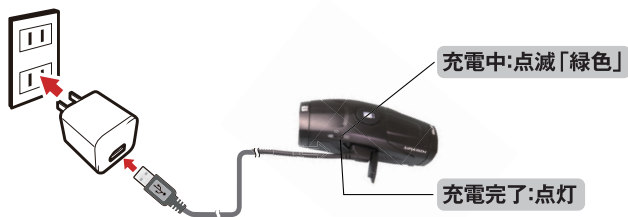
[2] 本機右側のキャップを外します。

[3] 付属のmicroUSBケーブルを使用して、本体と市販のACアダプタを接続し、ご家庭のコンセントに接続します。

※microUSBケーブルを本体に挿入する際は、ケーブル端子の向きを間違えないでください。本体およびケーブルのUSB端子が変形/破損する原因となります。

充電中は、充電ランプが緑色に点滅します。充電ランプが点灯したら充電完了です。

[4] 充電が完了したら、ACアダプタから本体を取り外してください。



### ご注意

- SDカード挿入状態で充電する際は、ご家庭のコンセントに接続後、必ず本体の電源をOFFにして行ってください。
- 充電が完了したら、必ずACアダプタから本機を取り外してください。コンセントに接続したまま放置すると、内蔵バッテリーの劣化の原因となります。

## microSDカードの挿入・取り出し

### ■microSDカードを挿入する

- 1.本機の電源を「OFF」にする
- 2.本体左側のキャップを外してから、メモリーカードの印字面を裏にして挿入する



### ■microSDカードを取り出す

- 1.本機の電源を「OFF」にする
  - 2.本機左側のキャップを外してから、メモリーカードを押して、カードが飛び出たら引き抜く
- ※カードを取り出す際に飛び出すことがありますので、紛失にご注意ください。



### ご注意

microSDカードを取り出し/交換する際、引っ掛かりがある状態での作業は行なわないでください。無理な力が加わるとmicroSDカードスロットが破損します。

## 本機の取り付け

本製品は多様な使い方ができます。スライド設置アタッチメントの場合はヘルメット頭頂部に設置でき、スライド設置アタッチメントとヘルメット装着用マウントセットを組み合わせることで、ヘルメット横面に設置することができます。

### 1. 推奨設置例



スライド設置アタッチメントとヘルメット装着用マウントセットの場合はヘルメット横面に設置



スライド設置アタッチメントの場合はヘルメット頭頂部に設置



### ご注意

前方を遮ることがないように取り付けてください。

貼り直しはテープの粘着力が弱まります。確実に装着しないと走行中に落下する恐れがあります。取付時は、ヘルメット装着用マウントセットのネジをしっかりしめてください。

映像が傾いていた場合は本機の位置を調整して下さい。



## 本機の取り付け

スライド設置アタッチメントとヘルメット装着用マウントセットを組み合わせた取り付け方法は下記のとおりになります。

### ■ヘルメットの横面に取り付け

#### 2.推奨取り付け位置

本機は、ヘルメット左右に取り付けられます。お客様のご使用用途により任意の場所に取り付けて下さい。

※取り付けの際は、本機底部(取付ネジ部)が下側になるように取り付けてください。

#### ●取付方法について

- ①スライド設置アタッチメントとヘルメット装着用マウントセット(※組み合わせをマウントと表記します)を一度組み合わせ、ヘルメットに添わせて位置を確認して下さい。  
※この時点では両面テープの保護シートは剥がさないで下さい。  
※マウントの向きによって撮影する角度調整を変えられます。
- ②ヘルメット装着用マウントセット裏面の両面テープで保護シートを剥がしヘルメットに貼り付けます。



ステイ部分は360°角度調整可能です。調整後はロックしてください。



- ③マウントをまっすぐ前へ向けて、本機底部のネジを利用して取り付けてください。
- ④本機ドライブレコーダーを設置して完了です。



## 本機の取り付け

スライド設置アタッチメントでの取り付け方法は下記のとおりになります。

### ■ヘルメットの頭頂部に取り付け

#### 2.推奨取り付け位置

本機は、ヘルメット頭頂部に取付けられます。お客様のご使用用途により任意の場所に取付けて下さい。

※取り付けの際は、本機底部(取付ネジ部)が下側になるように取り付けてください。

#### ●取付方法について

- ①スライド設置アタッチメントをヘルメットに添わせて位置を確認して下さい。

※この時点では両面テープの保護シートは剥がさないで下さい。

※マウントの向きによって撮影する角度調整を変えられます。

- ②スライド設置アタッチメント裏面の両面テープで保護シートを剥がしヘルメットに貼り付けます。

- ③マウントをまっすぐ前へ向けて、本機底部のネジを利用して取り付けてください。

- ④本機ドライブレコーダーを設置して完了です。



ヘルメット頭頂部



#### ●取外し方法について

外す際は取付ブラケットから本機を回して外してください。

万が一のために使用後は、本体を車両から外して管理していただくことをおすすめいたします。

#### ご注意

作業を始める前に周囲の安全を確保し、安定した場所で車両の転倒やケガなどに十分注意して作業を行なってください。

取り付けの際は、本機底部(取付ネジ部)が下側になるように取り付けてください。

角度調整は、安全な場所で停車してからして下さい。

走行中には絶対に行わないで下さい。

## 電源のON/OFF

### 電源ON(録画を開始する)

電源ボタンを長押し(3秒以上)すると本機が電源ONになり、録画を開始します。



### ご注意

microSDカード未挿入の場合は、自動的に電源OFFに切り替わります。  
microSDカード異常の場合は、10秒後に自動的に電源OFFに切り替わります。

### 電源OFF(録画を終了する)

録画中に電源ボタンを長押し(3秒以上)すると録画を終了し、本機が電源OFFになります。



## microSDカードのフォーマット

本製品ではじめて使用されるmicroSDカードは、必ず本製品でフォーマットを行なってください。また、microSDカードは消耗品のため、定期的にフォーマットまたは新品に交換してください。

### ●microSDカードをフォーマットする

汎用スマホアプリ「Viidure」の設定画面からmicroSDカードのフォーマットを行ってください。



アプリ画面で  
「フォーマット」を押す

### ご注意

microSDカードは1～2週間を目安に定期的なフォーマットを実施してください。  
フォーマットをしても異常が起こる・フォーマットできないなどの症状が出た場合は、SDカードを交換してください。

microSDカードの寿命は概ね3ヶ月から1年程度です。

ドライブレコーダーのご使用状況(ご使用時間)によりmicroSDカードの寿命は変動します。

## 日付と時刻について

本機の日付と時刻は動画ファイル名として反映されます。

また再生画面では記録した時刻が表示されます。

日付と時刻はスマートフォンやタブレットなどにWi-Fi(無線LAN)を接続し「透かし」機能をONにすると自動的に同期されます。



Wi-Fi接続  
(タイムスタンプ機能:ON)で  
日時が同期する

## 録画方式

録画方式は、「常時録画」、「緊急録画(衝撃)」の2つがあります。

### ■常時録画(ループ録画)

本機は電源がONになっている間の映像を録画することができます。  
設定により、2分/3分/5分と録画時間を設定できます。

#### 《例》録画時間を2分に設定



記録した映像ファイルは「VIDEO」フォルダに保存します。

### ●録画を開始する

microSDカード挿入後、電源入力がありましたら本機がONになり、自動的に常時録画が始まります。



録画停止状態で  
短押し: 録画開始

### ●録画を停止する

電源OFFと同時に録画が終了します。



長押し: 電源OFF  
(同時に録画停止)

## 録画方式

### ■緊急録画(衝撃)

録画中にGセンサーが衝撃を検知すると、緊急録画モードが開始します。

※ 録画停止状態では、衝撃を検知しても緊急録画モードが開始しません。

### 《例》録画時間を2分に設定



録画中の映像データは保護ファイルとして、「EVENT」フォルダに保存します。

### ご注意

- 通常録画ファイルおよび緊急録画ファイルはmicroSDカード容量上限に達すると、古いファイルを上書きして新しいファイルを保存します。時間の経過とともに古いファイルが消去されますので、あらかじめ大切なデータはパソコンへコピーして保存してください。
- 衝撃感知設定によっては、道路の段差やドアの開閉等で頻繁にセンサーが感知する場合がありますので、汎用スマホアプリ「Viidure」を利用して本機のGセンサー値を調整、もしくはOFFにしてください。
- Wi-Fi接続状態では、録画は停止しています。
- 緊急録画中に再度衝撃を検知しても延長して緊急録画は行ないません。

## Wi-Fi接続モード

### ●Wi-Fi接続モードON

電源ON状態で、Wi-Fiボタンを短押しすると、Wi-Fi接続モードをONすることができます。  
Wi-Fi接続中は録画停止されます。



短押し:  
Wi-Fi接続モードON  
録画停止

### ●Wi-Fi接続モードOFF

Wi-Fi接続中にWi-Fiボタンを短押しすると、Wi-Fi接続モードをOFFすることができます。  
また、電源OFFと同時に録画を開始します。



短押し:  
Wi-Fi接続モードOFF  
録画開始



## 汎用スマホアプリ「Viidure」接続方法

「Viidure」を使用し、スマートフォンと本機をWi-Fi接続することにより、本機で記録された録画ファイルをスマートフォンにて再生することができます。

### 1. アプリのインストール

「Viidure-Dashcam Viewer」をスマートフォンにインストールします。  
iPhone は「App Store」、Android は「Google Play」から「Viidure」をインストールします。



### 2. Wi-Fi接続モードをONする

ドライブレコーダー本体を長押しで起動します。  
ボタンを1回短押しして、Wi-Fiモードに切り替えます。

電源ON状態で  
短押し: Wi-Fi接続モードON

※アプリからのWiFi接続は出来ません。  
必ずスマートフォン端末側のWi-Fi設定を先に行ってください。



### 3. スマートフォンに接続する

お使いのスマートフォンを本機のWi-Fiに接続します。

【1】スマートフォンのWi-Fi設定画面から  
「BDVR-B002\_○○○○○」に接続します。  
初期Wi-Fiパスワード：12345678

【2】「Viidure」アプリを起動します。



【3】アプリ画面上の「ドライブレコーダーを追加」を  
タップして、アプリに製品を登録します。

ドライブレコーダーを追加

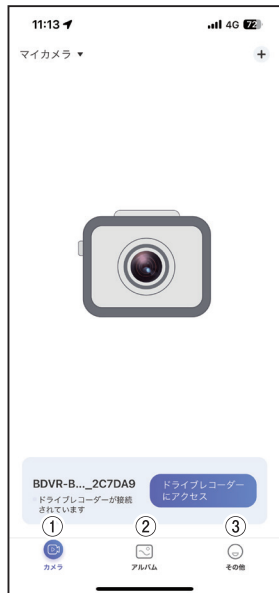


# 汎用スマホアプリ「Viidure」使用方法

## 各部名称

Wi-Fi接続完了と同時に録画画面に接続されます。

初期画面について



### ① カメラ

ドライブレコーダーにアクセス: LIVE映像に切り替わり、カメラの設定や録画ファイルを確認できます。

### ② アルバム

カメラファイルより保存した録画映像を確認できます。

### ③ その他

アプリの設定：言語設定や時刻表示を設定できます。

フィードバック：Q&Aやお問い合わせフォームが  
ございますが、汎用アプリのため使用できません。  
私たちについて：バージョンの確認が  
できます。評価やお問い合わせフォームが  
ございますが、汎用アプリのため使用できません。

## ご注意

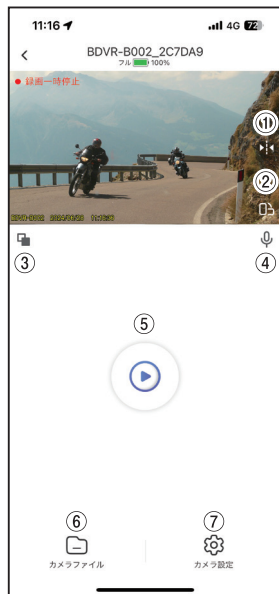
「Viidure」は汎用スマホアプリの為、「フィードバック」と「私たちについて」は使用できません。予めご了承ください。

「Viidure」アプリに関するご質問・お問い合わせについては、「Viidure」アプリ開発元にお問い合わせください。

# 汎用スマホアプリ「Viidure」使用方法

## 各部名称

ドライブレコーダーにアクセス後の画面について



### ① 正像鏡像切替

カメラの映像を正像・鏡像に切り替えます。

### ② 全画面切替

カメラの映像を全画面に切り替えます。

### ③ 画面表示切替

カメラの映像をフロントカメラ・リアカメラの映像画面に表示を切り替えます。

### ④ 録画音声ON/OFF切替

映像の録画音声をON/OFF切り替えます。

### ⑤ 再生ボタン

押すと録画が再開されます。録画を再開するとドライブレコーダーとの接続が切断されます。ご注意ください。

### ⑥ カメラファイル

録画した映像を確認することができます。

### ⑦ カメラ設定

カメラの各種設定ができます。

※LIVE映像確認中は録画は停止します。

## ご注意

ドライブレコーダーにアクセスした後、またはこの画面の際、再生ボタンに誤って手が触れてしまったり、間違えて押してしまうと、録画が再開され、ドライブレコーダーとの接続が切断されます。

再度、ドライブレコーダーと接続をしないといけなくなります。ご注意ください。

# 汎用スマホアプリ「Viidure」使用方法

## 各部名称

### カメラファイルの画面について



#### ① ループ

フロント・リアカメラの常時録画映像を確認できます。

#### ② 緊急

フロント・リアカメラの衝撃感知録画映像を確認できます。

#### ③ アルバム

microsdカードに保存した映像を確認できます。

#### ④ F マーク(画面映像内に表示)

フロントカメラで録画された映像になります。

#### ⑤ B マーク(画面映像内に表示)

リアカメラで録画された映像になります。

### 撮影映像の画面について



#### ⑥ ダウンロード

録画映像をスマートフォンに保存します。

#### ⑦ スナップショット

静止画像をスマートフォンに保存します。

#### ⑧ 削除

録画映像をmicrosdカードから削除します。

# 汎用スマホアプリ「Viidure」使用方法

## 各部名称

カメラ設定の画面について(前方1カメラの場合)



### ① 録画音声

録画音声のON/OFFを設定します。

### ② 録画解像度

撮影映像の解像度とフレームレートを設定します。

### ③ 録画ファイルの長さ

ループ録画の時間を設定します。

### ④ 透かし

タイムスタンプ(時間表示)のON/OFFを設定します。

### ⑤ 露出補正

露出補正を設定します。

### ⑥ アンチシェイク

手振れ補正のON/OFFを設定します。

### ⑦ Wi-Fiチャンネル

Wi-Fi周波数を設定します。

### ⑧ 動作検知

無動作状態で自動電源OFF/動作検知で自動電源ONになります。シャットダウンを設定します。

### ⑨ 映像ファイル形式

ファイル拡張子を設定します。

### ⑩ 衝突検知

GセンサーのON/OFFを設定します。

### ⑪ バージョンナンバー

アプリのバージョンを確認できます。

### ⑫ フォーマット

microSDカードのフォーマットを行います。

### ⑬ ファクトリーリセット

製品初期化ができます。



# 汎用スマホアプリ「Viidure」使用方法

## 各部名称

カメラ設定の画面について(前後2カメラの場合)



- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8

### ① 録画音声

録画音声のON/OFFを設定します。

### ② 録画解像度

撮影映像の解像度とフレームレートを設定します。

### ③ 録画ファイルの長さ

ループ録画の時間を設定します。

### ④ 透かし

タイムスタンプ(時間表示)のON/OFFを設定します。

### ⑤ 露出補正

露出補正を設定します。

### ⑥ Wi-Fiチャンネル

Wi-Fi周波数を設定します。

### ⑦ 動作検知

無動作状態で自動電源OFF/動作検知で自動電源ONになります。シャットダウンを設定します。

### ⑧ 映像ファイル形式

ファイル拡張子を設定します。

### ⑨ 衝突検知

GセンサーのON/OFFを設定します。

### ⑩ バージョンナンバー

アプリのバージョンを確認できます。

### ⑪ フォーマット

microSDカードのフォーマットを行います。

### ⑫ ファクトリリセット

製品初期化ができます。



- 9
- 10
- 11
- 12

## パソコンで再生する

汎用スマホアプリ「Viidure」以外に、パソコンにてデータを確認する方法は2種類（microSDカード / USB ケーブル）あります。

microSDカード：microSDカードを本体から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンで再生します。



### パソコンの動作環境

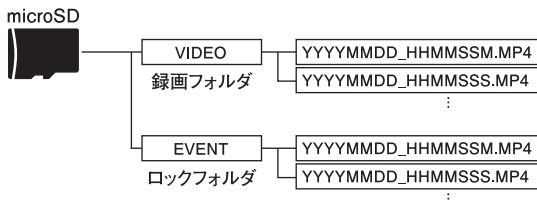
- ・Windows 8.1/10 (32/64bit)がインストールされたパソコン。
- ・Windows Media Player、QuikTime等の.MP4( H.264 ) 動画再生ソフトがインストールされていること。
- ・USB2.0インターフェースもしくは microSD/SDHCカードリーダーを備えていること。
- ・それぞれの OS の推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

## パソコンで再生する

### フォルダ構成

microSDカードに常時録画・緊急録画・静止画ファイルが保存される際、それぞれの専用フォルダが作成され、以下のような構成になります。

※データ種別により保存されるフォルダが異なります。



### ファイル名

ファイル名は録画（撮影）した年月日、時分秒、ファイル番号の組み合わせで作成します。フロントカメラ映像とリアカメラ映像はファイル名が異なります。

### ■ファイル表示例

**20240514\_120502M**

年、月、日

時、分、秒

M：フロントカメラの映像

S：リアカメラの映像

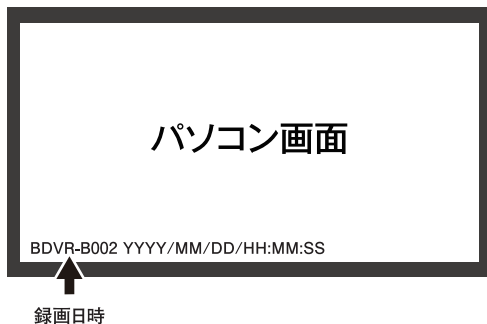
※ご注意:フロント映像とリア映像のファイル間で秒数値が1秒ほど異なる場合があります。



## パソコンで再生する

### 再生画面について

日付ラベルの設定ONの場合は、再生画面の左下隅に自動的日時情報が表示されます。日付ラベルのON/OFFは汎用スマホアプリ「Viidure」にて設定してください。



### ご注意

※具体的なパソコンでの操作については、パソコンメーカー、ソフトメーカーにお問い合わせ下さい。

※弊社では、パソコンの動作についてのサポートは一切いたしません。

## よくあるご質問

ご質問	回 答
電源が入らない、動作しない、動作が不安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●充電が十分にされていか確認してください。 ⇒内蔵バッテリーの残量が少ない状態で使用すると、外部から電源供給する場合であっても本体が正常に作動しない場合があります。定期的に本体の充電を行なってください。</li> <li>●本体が高温(50℃以上)になっていませんか？ ⇒microSD カードへの書き込みエラー発生時や外部環境要因などにより、本体が高温(50℃以上)になると、動作を停止する場合があります。本体の温度が下がってから使用してください。</li> <li>●システムエラーの可能性もあります。 ⇒リセットボタンを押して本体を再起動してください。</li> </ul>
録画ボタンを押しても、ランプが点滅しない	microSDカード未挿入、または読み込みができてない可能性があります。microSDカードをご確認し、フォーマットしてください。
記録が出来ない ファイルの読み込みが遅い	microSDカードが破損している可能性があります。 ⇒新しいmicroSDカードに差し替えてください。
起動後、暫くが経ってから自動録画開始する	前回利用時に最後に記録ファイルが破損した可能性があります。その場合には、本機はファイルを修復してから録画開始します。
動画再生で映像が飛んだりカクカクする	microSDカードのスピードクラスが足りていない可能性があります。 ⇒録画解像度設定を下げるかmicroSDカードを交換してください。
ACアダプターがない	本製品には充電用USBケーブルのみ同梱していますので、市販のACアダプター(定格5V/1A以下)のものをお使いください。
スマートフォンと接続できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スマートフォンのWi-Fi機能はONになっていますか？</li> <li>●Wi-Fiが繋がりにくい場所で作業を行なっていませんか？</li> <li>●スマートフォンとのWi-Fi接続時に入力したパスワードが間違っていないですか？</li> </ul> <p>※本製品は、複数台のスマートフォンとの接続はできません。本製品が既に他のスマートフォンとWi-Fi接続状態にある場合は、その接続を解除してからお試しください。</p>
録画中にWi-FiをONにしたい	本製品は録画中にWi-FiがOFFとなる仕様です。Wi-Fi接続中は録画停止されます。

## よくあるご質問

ご質問	回 答
microSDカードがフォーマットできなくなった	<p>microSDカードを新品に交換してください。</p> <p>※microSDカードのNANDフラッシュメモリの素子が書き込み回数の上限に達すると、カード側にデータロック機能がないmicroSDHCおよびmicroSDXCであっても「書き込み禁止」の状態となり、フォーマットができなくなります。</p> <p>SD カードの寿命といえますので、新品に交換が必要です。</p> <p>※microSDカードに起因する故障/損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。</p>
使用中に本体/部品が脱落した	<p>ヘルメットまたは車両への取り付けが確実ではなかった可能性があります。</p> <p>⇒本体および各部品の脱落防止対策が不十分だった可能性があります。</p> <p>※本製品の各部品は、走行中に落下しないようにヘルメットまたは車両へ確実に取り付けをしてください。</p> <p>また、本体および各部品の脱落防止対策は、全て使用者本人のリスク管理のもとで行なってください。</p> <p>本体/部品の脱落や付随して発生した損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。</p>

## 製品仕様

本体重量	約100g (microSDカード、電源ケーブル除く)
本体サイズ	L113xW38xH38 (mm)
記録媒体	8GB～128GB microSD (U3以上、初回ご利用時に本機でフォーマット必要)
撮影素子	1/2.8型 SONY IMX335 約500万画素 STARVIS CMOS
レンズ画角	約120° (対角)
F値	F1.8
動画画質 前方1カメラ	4K(3840×2160P)@28fps +EIS
	2K(2560×1440P)@59fps +EIS
	2K(2560×1440P)@28fps +EIS
	FHD(1920×1080P)@59fps +EIS
	FHD(1920×1080P)@28fps +EIS
動画画質 前後2カメラ	2K(2560×1440P)@28fps + 2K(2560×1440P)@28fps
	FHD(1920×1080P)@59fps + FHD(1920×1080P)@59fps
	FHD(1920×1080P)@28fps + FHD(1920×1080P)@28fps
Gセンサー	有 (ON/OFF調整可)
記録方式	常時録画/緊急録画 (常時録画中のGセンサー衝撃検知映像保護)
録画ファイル構成	2分/3分/5分
フレームレート	28コマ/秒、59コマ/秒
画像圧縮方式	H.264
音声録音	マイク音量ON/OFF切替え可能
映像ファイル形式	.MP4/.TS
端末再生方法	スマホアプリ「Viidure」
推奨PC再生ソフト	Windows Media Player/VLC Media Player
防塵・防水等級	IP65
内蔵バッテリー容量	2000mAh
バッテリー稼働時間	約300分(4K @28fps+EIS)
	約200分(2K @28fps+2K @28fps)
入力端子	USBType-C
動作温度範囲	-20℃ ~ +80℃
保管温度範囲	-20℃ ~ +70℃
製品保証期間	1年 (消耗部品は除く)

※仕様はお客様に予告なく変更になる場合があります。

## ファームウェアについて

ファームウェアの更新で不具合修正や機能改善する場合があります。  
以下のURLにて最新のファームウェアを公開いたしますので、随時チェックしてください。

# 最新ファームウェアはコチラ



<https://maxwin.jp/datadownload/firmware/>

検索に製品番号の「BDVR-B002」を入力してください。

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、  
お買い求めの販売店またはMAXWINホームページまで  
お問い合わせください。

<https://www.maxwin.jp/>

# 商品保証書

本書は製品購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に本書記載内容で無償修理する事を約束するものです。修理の際に必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

## 《無償修理規定》

■取扱説明書の注意事項に従い、かつ正常な使用状態で故障した場合に無償保証いたします。

無償修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。

■保証期間内でも次のような場合には有料になります。

- ・使用上の誤り及び過失による故障及び損害
- ・分解、改造及び保証シールが破れている場合
- ・火災、地震、風水害、落雷、その他天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源(電圧・周波数)などによる故障及び損害
- ・購入後の移動、落下あるいは運送などによる故障及び損害
- ・本保証書のご提示がない場合
- ・本保証書に購入年月日、お客様氏名、購入代理店の記入がない場合、あるいは保証期間切れ、字句を書き換えられた場合
- ・消耗品、付属品などの交換による故障及び損害

■本製品は故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。

■本書は日本国内のみ有効です。

■本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

※修理ご依頼の場合、データ検索のため、以下の欄にご購入時に記入したお客様データをご記載ください。

〈お客様氏名〉 様	〈故障内容〉※具体的にお書きください。
〈電話番号〉	
〈ご住所〉	
〈販売店〉	〈購入日〉

**MAXWIN**  
昌騰有限会社

商品についてのお問合せは  
購入された販売店または

<https://maxwin.jp/faq/>  
から Q&A をご確認ください。

MEMO

***MAXWIN***